



先天性部分無歯症の新治療法開発

一般に未成年は顎骨が発達期にあり義歯やインプラントの適用が困難です。そのため現状では、先天性無歯症患者は成人するまでの長期間を温存療法で対応するしかありません。しかし歯の欠損は栄養確保に悪影響を及ぼすため、成長期に適応できる根本的な治療法の開発が強く望まれています。そこで、先天性無歯症患者に自己歯の形成を誘導して 発達期のQOL の改善を提供できる治療薬の開発を進めています。

北野病院100周年記念事業

第97回 学術講演会



オンライン講演

日時：2023年8月25日(金) 17:00開始

申込方法：<https://www.kitano-hp.or.jp/kenkyu/koen>
または右記の二次元バーコードよりお申込み下さい。
なお、オンデマンド配信も予定しております。

特別講演1 先天性無歯症の遺伝学

愛知県医療療育総合センター 発達障害研究所 主任研究員 **時田 義人 先生**

特別講演2

先天性無歯症の新たな治療技術の開発



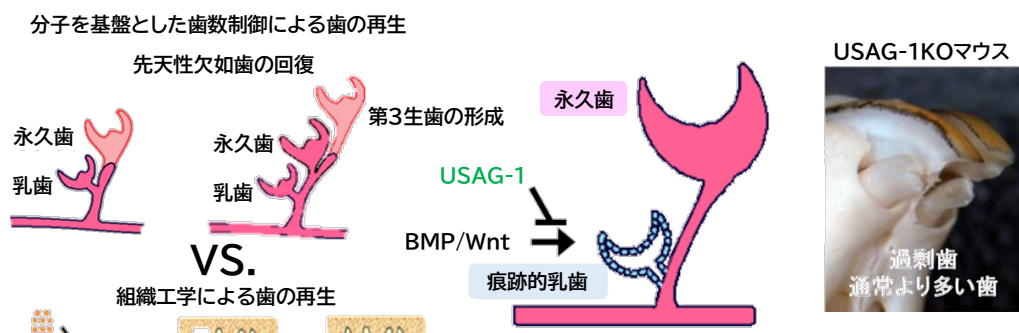
公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 歯科口腔外科 主任部長

高橋 克 先生

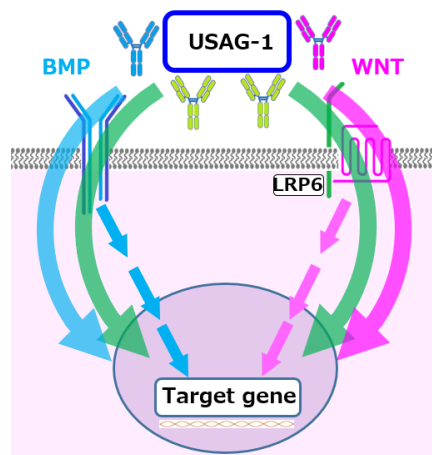
【問合せ先】
公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院
医学研究所運営企画室
TEL：06 - 6131 - 2792
Mail：lab-mp@kitano-hp.or.jp

歯を再生する抗体医薬の開発

- 1 歯の再生研究
- 2 歯を増やす標的分子の同定



3 抗USAG-1中和抗体の獲得



4 先天性無歯症の歯数を回復する中和抗体

